



当日配布されたちらし寿司やケーキ

12月22日

### ひとり親家庭への援助 クリスマスケーキを無料配布

NPO法人陽向ぼっこ(儀同一義代表)は、ひとり親家庭の48世帯135人を対象に食料の無料配布をしました。「農林水産省」「子ども家庭庁」「全国こども食堂支援センター・むすびえ」からの助成金を活用し、米やちらし寿司、クリスマスケーキなどをひとり親家庭へプレゼントしました。儀同代表は「楽しんでクリスマスを迎えてくれればうれしい」と話していました。



目玉商品の「お魚の福袋」を買い求める来場者

1月3日

### 移転前最後も長蛇の列 恋問館「新春大売り出し」

4月に移転する恋問館で移転前最後となる「新春大売り出し」が行われ、大勢の人でにぎわいました。会場では、1割の確率で毛ガニが入っているお魚の福袋(250個)やお肉の福袋(15個)、チーズセット(50個)などが販売され、200人以上が行列をつくりました。販売が開始されると、来場者は次々と福袋を購入し、15分ほどで全ての福袋が完売しました。



コタン(村)を再現したジオラマを觀賞する鈴木知事(中央)

12月22日

### アイヌ文化の保存と継承を 鈴木知事「ポコロ」視察

道東自動車道阿寒IC(インターチェンジ)～釧路西ICの開通式の前に、鈴木直道北海道知事が「白糠アイヌミュージアム・ポコロ」を視察しました。鈴木知事は、白糠アイヌ協会の天内重樹会長や棚野孝夫町長の案内のもと、チセ(家)やジオラマなどを見学し「アイヌ文化の保存と継承のためのすばらしい施設」と称賛していました。



約100mに渡り並べられたトーチとキャンドル

12月31日

### トーチとキャンドルで心と体を温める 西庶路神社で初詣

かがりび 篝火で新年を迎える会(富田忠行会長)は、12月31日から1月1日にかけて、白糠神輿会や神社総代の協力の下、西庶路神社の参道にスウェーデントーチとアイスキャンドルをともしました。トーチは西庶路在住の石井札造さんが作成し、キャンドルは庶路学園で制作されました。参拝者は「きれいだね」と喜び、初詣で1年の幸運を願いました。



大型絵本の読み聞かせに夢中になる参加者たち

12月21日

### 絵本でクリスマスの世界へ 「星の子」絵本読み聞かせ

クリスマスイベントとして「よみきかせの会☆星の子」が公民館図書室で絵本の読み聞かせを行いました。会場には親子連れ約30人が来場。絵本「クリスマスったらクリスマス」や大型絵本「まどからのおくりもの」などが読まれると、来場者たちは絵本の世界に引き込まれていました。最後は全員にお菓子のプレゼントがあり、子どもたちはとても喜んでいました。

12月21日

### クリスマスソングで聴衆魅了 ALLしらぬかクリスマスコンサート

第3回ALLしらぬかクリスマスコンサートが社会福祉センターで開かれ、約90人の来場者がクリスマス気分を味わいました。コンサートは出演応募のあった小学生3人のピアノ演奏で幕開け。続いて、情操教育指導者の山田陽子さんと福田美佳さんがオペラや賛美歌を披露し、圧倒的な演奏力と歌唱力を見せつけました。また、町内在住のピアニスト笠原茂子さんも山田さんとのピアノ連弾で賛助出演し、会場を盛り上げました。最後は白糠吹奏楽団がクリスマスソングメドレーを演奏し、聴衆を魅了しました。



目録を棚野町長に手渡すユーラスの清水泰幸事業所長(左)

12月18日

### 子どもたちの健康の一助に 町内各学校へ加湿器贈呈

株式会社ユーラスエナジーホールディングスより、加湿器6台が茶路小中学校および白糠、庶路学園(各学校2台)に寄贈され、贈呈式が役場で行われました。同社は2014年から釧路工業団地で大規模太陽光発電所を操業しており、毎年町に寄付をしています。操業から10年を迎え、町への感謝と今後も町と一緒に発展していきたいとの思いから寄贈を申し出ました。



1. 寺嶋美鈴さん(白糠3年)が「メヌエットとトリオ」など3曲を演奏。2. 戸田帆南さん(庶路4年)は、笠原茂子さんとピアノ連弾を披露。3. 戸田安思さん(庶路6年)は「ワルツ」など3曲を演奏。4. 山田さんと笠原さんによるピアノ連弾。5. 情操教育指導者の山田さんと福田さん(右) 6. 終盤にはサンタクロースが登場し、来場者にプレゼントを配布。子どもたちはとても喜んでいました。